

◇女性部本部長 原 玲子〔中央支部 日本興運(株)〕

ロジスティクス研究会の皆様には、平素より大変御世話になっておりますこと女性部を代表いたしまして心より厚く御礼を申し上げます。いつも有難うございます。

さて、たくさんの市民ランナーが参加して東京中がお祭りの様な賑わいだった東京マラソンも無事終了し、参加なさったロジスティクス研究会・青年部の皆様方の御健闘に心より敬意を表す次第でございます。副会長の竹内ロジスティクス研究会本部長も5時間台で完走されたとか、本当にご苦労様でした。そして、おめでとうございます。さすが東ト協ロジ研・青年部でした。

その賑わいに続いて、ワールドベースボールクラシック(WBC)ではやりました！日本が優勝を果たし連覇を成し遂げました。心の底から沸立つ喜びで誰もがさぞかし胸がいっぱいになった事と思います。そうです、こんな時代ですもの、閉塞感いっぱい不安が渦巻くこの時に、苦しみの中から何かを成し遂げる、結果を出す、この爽快感！！走る事も(マラソン等論外)、野球にも全く興味のない私でさえどちらも「やった、最高！」とガッツポーズでした。

多くの人達に忍耐と努力そして勇気を具現化して見せてくれた様に思います。

春です、まもなく東京の桜もいっせいに開花いたします。新年度に向けてスタートする全ての人達へのはなむけだった様に思います。

新年度となればロジ研・青年部の皆様方は、総会や次年度の活動に向けて準備怠りなくというところだと思いますが、女性部は東ト協本部が掲げる方針に添うことはもとより女性部としてより活発に活動していきたいと考えております。今年度以上に他府県女性部との交流を深め経営に役立つ情報を交換していきたいと思っております。他府県女性部の取り組みに触れ、今後の活動へのヒントが得られれば尚喜ばしい事だと思っております。又、女性部活動の中に社会福祉活動がありますが、昨年富士宮にある盲導犬センターを訪問し、この小さな小さな子犬達が訓練を受け、立派な盲導犬に成長し人の役に立っていくんだなと思うと大きな感動をおぼえました。何か私達で社会福祉の観点から出来る事はないのか現在検討中です。

次年度も女性部は頑張ります。皆様と力を合わせて東ト協三組織のパワーUPに努力してまいります。100年に1度といわれる経済不況、この厳しい時代を経験する私達は、それを宿命として生まれて来ているのですから、決して挫ける事無く「負けてたまるか！」の気概を持って乗り越えてまいりましょう。

◇ロジ研壮年部長随想リレー 板橋支部壮年部長 篠崎 眞〔(株)興真運送〕

我がロジ研竹内本部長が、東京マラソン完走いたしました。おめでとうございます。

さて、第2回WBC 侍ジャパンが、延長戦の末韓国を下して2大会連続で優勝した。日本の「野球」が、アメリカの「ベースボール」をまたも破った！！29名の侍ジャパンのチームワークが、高給取りの大リーガーに勝ったのです。

同じ日、政府の支援を受けて経営再建中の米保険最大手のAIGによる高額ボーナス支給問題で、高額ボーナスを受け取った上位20人の内15人、金額にして5,000万ドル(約49億円)が、返金に同意した。しかし、この高額なボーナス支給は、幹部73人に1人当り100万ドル(約9,800万円)、最高640万ドル(約6億2,700万円)であった。

日本は、米国発の金融危機による世界同時不況の大津波が企業を直撃し、100年に一度の不景気で生産の現場では「減産」の雨嵐が吹き荒れている。我々の業界では、運ぶものが減少し、仕事を奪い合う時代になり、お客様の要望によりサービスよりまず価格と言う価格破壊に至っている。「価格が安ければ良い」時代のなか、お客様各社も会社を守る為に必死にこの時代を生き抜いているなか、我がロジ研も侍ジャパン同様に一丸となって、この不況に立ち向かって行きたいと思っております。

◇お知らせ《行事予定》

- 3/14(土)のロジ研ゴルフは5/30(土)に変更になりました。
- 4/8(水)17:00～正副本部長会議 於:東ト総合会館6F小
- 6/9(火)ロジ研総会 於:東ト総合会館7F

◇寄稿「東京マラソンに参加して」 本部長 竹内 政司

3月22日に行われた東京マラソンに参加しました。青年部11名とロジ研・藤倉君、そして私の計13名のエントリーで、完走は9名でした。私も立場上、と言うか、成り行き上、走り、何とか完走しましたが、初マラソンの42.195kmは、やはり凄かったですね。タイムは5時間45分30秒でした。25キロを過ぎる頃、キツイを通り越して、もうイヤになりましたが、トラック屋として途中でエンコするわけにもいかず、セルモーターを回しながら、バッテリーの続く限り走り続けました。お陰で足回りはガタガタ。翌日、マッサージ(ちゃんとした治療のマッサージです)で、オーバーホールをしてきましたが、膝と太ももが痛くて、階段は手すりにつかまり降りていました。

しかし、完走できましたのも、皆が応援してくれたお陰です。本当にありがとうございました。

◇寄稿「昭和のこと 2」ひびき 168号掲載の随想リレー続き 新宿支部壮年部長 飯島 光幸〔(有)ト・ワ・デ・リ・バ・リ〕

戦後数年、人々は笑顔を取り戻し、何とか生活をしていた頃生を受けた。

所は本所緑町、両国橋を東へ一つ目、二つ目、三つ目橋とすぎ、三つ目通りを過ぎたあたりが緑町4丁目、我が家といえば小さな縁側と庭があり、常に5～6人の居候がいる狭いながらもぎやかな家だった。周りは焼け野原、どの家の庭にもトウモロコシやイモ畑があり、都電通りは荷馬車やオート三輪車が走り、江東橋横川には筏が繫留され、筏師の鳶口が陽光を浴びキラキラ光っていた。(この川は空襲時に土左衛門でいっぱいになった)食堂の前の電柱には荷馬車が繫がれ、馬腹をくぐったり、川の筏に乗ったりしてはよく怒られた。母子寮の屋上からは浅草草屋の土星型観覧車と、浅草寺の大屋根がよく見え一度でいいから乗ってみたいと思った。遊び場は家の前の路地、母子寮のひでおちゃんを年長に、大工さんちのしゅうちゃん、時計屋のてっちゃん、メリヤス屋のよしこちゃん、しげるちゃんと、いつも子ども達でいっぱいの中、カンけり、チャンバラ、ビー玉、ベーゴマ、メンコと遊びは盛りだくさんだった。紙芝居が来ると母親に5円もらい水あめを白くなるまで練り少しずつ大事に食べた。(どくろ仮面が嫌いだったな)その中に小唄のお師匠さんの一人息子がいて一緒に遊ぶでもなく、物静かで小奇麗な服をいつも着てにこにこことついてきていた。夕方になり父が帰宅すると銭湯へ行き、帰りは錦糸町駅前の街頭テレビを肩車越しに胸をときめかせながら力道山の空手チョップを見ていた。(つづく)

※訂正とお詫び。168号の本文の「三伏町」は正しくは「山伏町」です。

◇「ひびきの変更とホームページのリニューアルについて」 広報委員長 鈴木 貢

皆様、日頃お世話になっております。広報委員長の鈴木です。私がロジ研2期目の役員を仰せつかり、広報を担当してからまもなく1年になります。前任者の業務を引き継ぎ、通算170号のひびきを発行することが出来ました。これもひとえに我々ロジ研を支え、ひびきに目を通して頂ける皆様のお陰だと信じております。

今回、私が就任一年目を迎えるにあたり、皆様のご意見をいろいろ頂戴して、検討してみた結果、このひびきをこれまでのように、一方的に本部からの連絡・報告記事のみに紙面を割くのではなく、もつとより双方向的な情報の発信メディアにしようと考えております。そのためには、紙面の編集項目の大幅な見直しや、発行方法、情報の収集方法などの変更を検討しております。具体的に申し上げますと、現在、東京都トラック協会のホームページからぶら下がっております我がロジ研のホームページの大幅な改定と共に、ホームページとひびきを連動させて、皆様のご意見を直ちにひびきに反映できるシステムにしております。この運用に関しては皆様のご理解とご協力が不可欠のものとなりますが、トラック協会に於けるロジ研の政策提言集団としての立場をより強固なものとして、有益な情報の発信をどんどん行なっていきたいと考えておりますので、応援宜しくお願い申し上げます。

また、通信方法も、これまでのファクス一辺倒から、ホームページからの配信、メールでの配信とコストを抑えた、配信手順を検討しておりますのでご了承ください。後日、皆様にアンケートをお配りいたしますが、極力WEB上での配信をしたいと考えておりますので、読者の皆様のメールアドレスのご登録をお願いいたします。

今後とも、諸先輩方の功績を引き受け、業界の為にシンクタンクを目指すロジ研の名に恥じない情報の提供をしていく所存ですので、皆様のご理解、ご協力を重ねてお願いいたします。